ワークロードアナライザーを使用してワークロードのトラブルシューティングを行う

Active IQ Unified Manager

NetApp
November 13, 2026

This PDF was generated from https://docs.netapp.com/ja-jp/active-iq-unified-manager-918/performance-checker/concept_troubleshooting_workloads_using_workload_analyzer.html on November 13, 2026. Always check docs.netapp.com for the latest.

目次

ワークロードアナライザーを使用してワークロードのトラブルシューティングを行う 1
Active IQ Unified Manager のワークロードアナライザーを使用してワークロードのトラブルシューティングを行う 1
Active IQ Unified Manager のワークロードアナライザーデータについて 1
Active IQ Unified Manager でワークロードアナライザーを使用するタイミングを理解する 3
Active IQ Unified Manager でワークロードアナライザーを使用する 3

ワークロードアナライザーを使用してワークロードのトラブルシューティングを行う

Active IQ Unified Manager のワークロードアナライザーを使用してワークロードのトラブルシューティングを行う

Workload Analyzerは、1つのワークロードに関する健全性とパフォーマンスの重要な条件を1つのページに表示して、トラブルシューティングを支援します。あるワークロードの現在と過去のイベントをすべて確認できるため、ワークロードにパフォーマンスや容量の問題が発生している理由をより正確に判断できます。

また、アプリケーションのパフォーマンスの問題がストレージに起因しているか、あるいはネットワークやその他の関連する問題に起因しているかを判断することもできます。

この機能は、ユーザ インターフェイスのさまざまな場所から開始できます。

- 左側のナビゲーション メニューで[ワークロード分析]を選択
- イベント詳細ページから「ワークロード分析」ボタンをクリックする
- ワークロードインベントリページ（ボリューム、LUN、ワークロード、NFS共有、またはSMB/CIFS共有）から、詳細アイコン ⋮ をクリックし、*ワークロードの分析*を選択します。
- 仮想マシンページから、任意のデータストアオブジェクトの **Analyze Workload** ボタンをクリックします。

左側のナビゲーションメニューからツールを起動すると、分析したいワークロードの名前を入力し、トラブルシューティングを行う期間を選択できます。任意のワークロードまたは仮想マシンのインベントリ ページからツールを起動した場合、ワークロードの名前は自動的に入力され、デフォルトである2時間分のワークロード データが表示されます。[イベントの詳細]ページからツールを起動した場合、ワークロードの名前は自動的に入力され、10日分のデータが表示されます。

Active IQ Unified Manager のワークロードアナライザーデータについて

[Workload Analyzer]ページには、ワークロードに影響している可能性があるイベントの情報、イベントの原因となっている問題を解決するための推奨事項、およびパフォーマンスと容量の履歴を分析するためのグラフが表示されます。

ページの上部では、分析するワークロード（ボリュームまたはLUN）の名前と、統計情報を表示する期間を指定します。表示する期間はいつでも短縮または延長することができます。

ページの他の領域には、分析結果およびパフォーマンスと容量のグラフが表示されます。

LUNのワークロード グラフに表示される統計情報レベルは、ボリュームのワークロード グラフと同じではないため、これら2種類のワークロードで異なる値が表示されることもあります。

- イベント概要エリア

  期間中に発生したイベントの数とタイプが表示されます。複数の領域（パフォーマンスと容量など）に影響するイベントがある場合は、ここから必要なイベント タイプの詳細を選択できます。イベント タイプをクリックすると、イベント名のリストが表示されます。

  期間中にイベントが1つしかない場合、一部のイベントでは問題を解決するための推奨事項のリストが表示されます。

- イベントタイムライン

  指定した期間内に発生したすべてのイベントが表示されます。各イベントにカーソルを合わせると、イベント名が表示されます。

  イベント詳細ページから「ワークロードの分析」ボタンをクリックしてこのページにアクセスした場合、選択したイベントのアイコンが大きく表示されるため、イベントを識別しやすくなります。

- パフォーマンスチャートエリア

  選択した期間に基づいて、レイテンシ、スループット（IOPSとMB/sの両方）、および利用率（ノードとアグリゲートの両方）のグラフを表示します。さらに詳細な分析を行いたい場合は、「パフォーマンスの詳細を表示」リンクをクリックすると、ワークロードのパフォーマンスエクスプローラーページが表示されます。

  - *レイテンシ*は、選択した期間におけるワークロードのレイテンシを表示します。このグラフには、以下の情報を表示できる3つのビューがあります：
    - *合計*レイテンシー
    - 内訳 レイテンシ（読み取り、書き込み、その他のプロセス別）
    - *クラスタコンポーネント*のレイテンシ（クラスタコンポーネント別）

ここに表示されるクラスタコンポーネントの説明については、"クラスタ コンポーネントとその競合要因"を参照してください。 スループット*は、選択した期間におけるワークロードの**IOPS**と**MB/s**スループットの両方を表示します。このチャートには、次の内容を確認できる**4**つのビューがあります。 合計*スループット 内訳*スループット（読み取り、書き込み、その他のプロセス別） クラウドスループット（クラウドへのデータの書き込みとクラウドからのデータの読み取りに使用されるMB/s。クラウドに容量を階層化しているワークロードの場合） * 予測付き**IOPS**（期間内に予想される上限および下限**IOPS**スループット値の予測）このチャートには、設定されている場合は**Quality of Service**（**QoS**）の最大および最小スループットしきい値設定も表示されるため、システムが**QoS**ポリシーを使用して意図的にスループットを制限している箇所を確認できます。 *利用率*は、選択した期間においてワークロードが実行されているアグリゲートとノードの両方の利用率を表示します。ここから、アグリゲートまたはノードが過剰に使用され、高いレイテンシの原因となっている可能性があるかどうかを確認できます。FlexGroupボリュームを分析する場合、利用率チャートには複数のノードと複数のアグリゲートがリストされます。

- 容量チャートエリア

  過去1カ月のワークロードに対するデータ容量とSnapshot容量のグラフが表示されます。

  ボリュームについては、「容量の詳細を表示」リンクをクリックすると、ワークロードの健全性詳細ページが表示され、さらに詳細な分析を行うことができます。LUN にはヘルス詳細ページがないため、LUN はこのリンクを提供していません。

  - *容量ビュー*には、ワークロードに割り当てられた利用可能な総スペースと、論理的に使用されてい

るスペース（すべてのNetApp最適化後）が表示されます。

- *スナップショットビュー*には、Snapshotコピー用に予約されている合計容量と、現在使用されている容量が表示されます。LUN にはスナップショットビューが提供されないことに注意してください。
- *Cloud Tier View*は、ローカルパフォーマンスティアで使用されている容量とクラウドティアで使用されている容量を表示します。これらのグラフには、このワークロードの容量がフルになるまでの残り時間の推定値が含まれています。この情報は過去の利用状況に基づいており、最低10日間のデータが必要です。容量の残りが30日分未満になると、Unified Managerはストレージを「`almost full`」と識別します。

Active IQ Unified Manager でワークロードアナライザーを使用するタイミングを理解する

Workload Analyzerは、ユーザから報告されたレイテンシの問題をトラブルシューティングする場合、報告されたイベントやアラートを詳しく分析する場合、動作に異常があるワークロードについて調べる場合に使用します。

アプリケーションの実行速度が非常に遅いという連絡をユーザから受けた場合は、アプリケーションが実行されているワークロードのレイテンシ、スループット、利用率の各グラフを調べて、パフォーマンスの問題がストレージに起因しているかどうかを確認できます。ONTAPシステムで容量の使用率が85%を超えるとパフォーマンスの問題が生じる可能性があるため、容量グラフを使用して使用率が上昇していないかも確認できます。これらのグラフから、問題の原因がストレージであるか、ネットワークであるか、あるいはその他の関連する問題であるかを判別できます。

Unified Managerがパフォーマンスイベントを生成し、問題の原因をより詳細に調査したい場合は、イベント詳細ページから「ワークロードの分析」ボタンをクリックしてワークロードアナライザーを起動し、ワークロードのレイテンシ、スループット、および容量の傾向を調査できます。

ワークロードインベントリページ（ボリューム、LUN、ワークロード、NFS共有、またはSMB/CIFS共有）を表示した際に、ワークロードが異常に動作しているように見える場合は、詳細アイコン ⋮ をクリックし、*「ワークロードの分析」*をクリックしてワークロード分析ページを開き、ワークロードをさらに詳しく調べることができます。

Active IQ Unified Manager でワークロードアナライザーを使用する

Workload Analyzerは、ユーザ インターフェイスからさまざまな方法で起動できます。ここでは、左側のナビゲーション ペインからツールを起動する方法について説明します。

手順

1. 左側のナビゲーションペインで、*ワークロード分析*をクリックします。

   [ワークロード分析]ページが表示されます。

2. ワークロード名がわかっている場合は入力します。完全な名前がわからない場合は、3文字以上入力すると、その文字列に一致するワークロードのリストが表示されます。
3. デフォルトの2時間よりも長い期間の統計情報を表示する場合は、時間範囲を選択して*Apply*をクリックしてください。

4. [サマリ]領域を表示して、設定した期間に発生したイベントを確認します。
5. パフォーマンスと容量のグラフを表示して指標値が異常な期間を確認し、その期間に発生しているイベントがないかどうかを確認します。

著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用権を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用権については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、http://www.netapp.com/TMに記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。